

広報たしる

No. 330

昭和56年2月号

田代町総務課編集

1,500部発行



「今月はさんねん
でげっ、でげっ」

もあい
模合で出席率百パーセント

(中村小組合定例会)

中村小組合では、ひと昔前までは公民館もなく、各家庭廻りて毎月一回小組合会を開催しておりました。
最近では、公民館で開いていましたが、有線放送、広報無線等で、各種連絡、達示等ができ、自然と会合の必要性もうすれ年に二・三回開く程度であった。

しかし、部落民が一堂に集り、色々話合う事により発展もあり、個人の進歩もあるということを「村づくり運動」で経済課の指導を受けて、五十五年度部落役員交たいの際、毎月一回は必ず常会を開き全員出席する事を申合せ、例会日を毎月二十日に決めた。

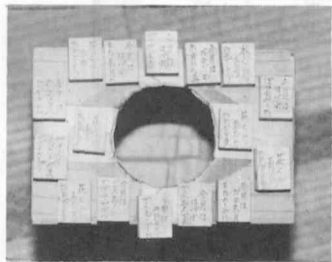
会を重ねるうちに皆がたのしく出会できる方法はないかと検討した結果、模合をしたらという事で五月より始めて例会出席率は百パーセントとなっている。

模合が終わったら、焼酎をのみながら部落の事、農作業、畜産と話題が続出し、村づくり運動が軌道に乗つつあるということです。

この模合は、部落全世帯(十五世帯)が加入し、掛金は三千元、くじで当落をきめ当った方は、次回より百円の増増をする。

すでに当った方は、たのしみがないので別に各戸百円を出し花くじを行っているが、これは三百円で五名が毎月当るようになっていきます。

この花くじは何回当たっても良く最高五回の幸運者もいるということです。



花くじ

田代町の人口

4,380人

国勢調査(速報)

〔昭和55年10月1日現在で実施された昭和55年国勢調査〕

1. 総人口

昭和55年10月1日現在の鹿児島県の総人口は、1,784,364人で昭和50年国勢調査人口に比べると60,462人(3.5%)の増となっていますが、田代町の人口は4,380人で、昭和50年国勢調査人口に比べると537人(10.9%)の減となっています。

2. 男女別人口

昭和55年10月1日現在の鹿児島県の人口を男女別にみると、男839,294人、女945,070人で、昭和50年国勢調査人口に比べると男34,929人(4.3%)の増、女25,533人(2.8%)の増と共に増加していますが、田代町の人口を男女別にみると、男2,070人、女2,310人で、昭和50年国勢調査人口に比べると男209人(9.2%)の減、女328人(12.4%)の減と共に減少となっています。

3. 世帯数

昭和55年10月1日現在の鹿児島県の世帯数は606,807世帯で、昭和50年に比べ56,510世帯の増となっております。田代町の世帯数は1,534世帯で昭和50年に比べ73世帯の増となっています。増加数のなかには世帯の概念がかわったため増加したものも含まれています。

4. 一世帯当りの平均世帯員

鹿児島県の一世代当りの平均世帯員は2.94人で昭和50年の3.13人に比べると0.19人減少しております。田代町の一世代当りの平均世帯は2.86人で昭和50年の3.37人に比べると0.51人減少しております。

◇田代町の年次別人口世帯数

年次	世帯数	人口		
		計	男	女
昭和10年	1,182	5,486人	2,721人	2,765人
“25年	1,520	7,259	3,468	3,791
“30年	1,580	7,603	3,766	3,837
“35年	1,641	7,486	3,688	3,798
“40年	1,603	6,787	3,286	3,501
“45年	1,533	5,602	2,629	2,973
“50年	1,461	4,917	2,279	2,638
“55年	1,534	4,380	2,070	2,310

農家世帯数

880戸

世界農林業センサス(速報)

〔昭和55年2月1日現在で実施された1980年世界農林業センサス〕

1. 農家数

昭和55年2月1日現在の鹿児島県の農家総数は、175,439戸で昭和50年の調査に比べると19,645戸(10.1%)の減少である。田代町の農家総数は880戸で昭和50年の調査に比べると40戸(4.3%)の減少です。

2. 専業・兼業別農家数

鹿児島県の専業・兼業別農家構成は専業農家48,754戸(27.8%)、兼業農家126,685戸(72.2%)となり7割以上が兼業農家で、なかでも第2種兼業農家が51.6%を占めている。田代町の専業・兼業別農家構成は専業農家200戸(22.7%)、兼業農家680戸(77.3%)となり8割近くが兼業農家で、なかでも第2種兼業農家が71.0%を占めています。

3. 経営耕地規模別農家数

田代町の経営耕地規模別農家数の動きについてみると、昭和50年に比べて1.0～1.5ha未満層で16.7%、0.5～1.0ha未満層で15.8%、0.3～0.5ha未満層で7.8%と減少しており、経営耕地規模の小さいものの減少が目立っている。反面1.5ha以上の階層では経営耕地規模の大きい層ほど顕著な伸びを示しており、3.0ha以上の層では175.0%と大幅な伸びを示し次いで2.5～3.0ha未満層で120%、2.0～2.5ha未満層で64.3%、1.5～2.0ha未満で33.3%と増加しています。

4. 農家人口

農家人口は3,232人で昭和50年に比べると397人(10.9%)減少した。この結果農家人口の総人口に占める割合(農家人口率)は昭和50年の73.8%から今回も73.8%と全く変わっていません。

◇年齢別人口の推移

区分	年次	農家人口	15歳以下	16～59歳	60～64歳	65歳以上
実数	昭和50年	3,629	1,047	1,919	220	443
	“55年	3,232	742	1,801	210	479
対前回増減率	“55年	△10.9	△29.1	△6.1	△4.5	8.1
	“50年	100.0	28.8	52.9	6.1	12.2
構成比	“55年	100.0	23.0	55.7	6.5	14.8

5. 土地

経営耕地総面積は61,621aで、昭和50年に比べ1,292a(2.1%)の増である。

土地種目別に面積をみると田が最も多く28,767aで、全体に占める割合は46.6%となっている。畑面積は20,408aで、その構成費は33.1%、樹園地面積は12,446aで20.1%となっている。また1戸当りの経営耕地面積は70.1aとなっています。

二十歳の春祝う

新春一月三日、田代町開発センターに町内在住者や正月に帰省した今年成人を迎えた人々を



成人式

集めて、成人式が挙行された。

本町出身者で、成人式該当者は、男子七十四名・女子五十九名、計百三十三名であった。

出席者は、男子四十八名・女子四十九名、計九十七名で、出席率七十三％（昨年と同率）であった。

町長式辞のあと、議会議長と教育委員長のお祝いのことばがあり、町から記念品が贈られた。

成人者を代表して、別府真さん（表木）が「成人式を迎えて」と題してその感想を述べ、白井さとみさん（新田）は「二十才になって思うこと」と題し、二

十才の権利、義務、責任を述べ、鶴園健郎さん（鶴園）は「これからのわたしたち」と題して、今後の抱負を述べた。

その後、南園高樹町青年団長と松田イツ子町婦人会長が励ましの言葉を送った。

式終了後のアトラクションでは、青年団の踊りとグリーンカントリーバンドの演奏が行われ、記念撮影をした。

次に、代表者の一人白井さとみさんの感想を掲げます。

二十才になって思うこと

白井さとみ

明けましておめでとうございます。

皆さんと一緒に、ここに成人

式を迎えられた事を本当にうれしく思います。

二十才と言う人生の分岐点ともいえる今、私達は何をしなくてはいいのでしょうか。まだ人生の三分の一程度しか歩いて来ていない私達です。これから経験しなくてはいいけない事や、やらなくてはいいけない事がたくさんあると思います。そして多くの人々と付き合って社会のむずかしさというものを切々と痛感させられる事でしょう。

皆さんは高野悦子さんの書いた「二十才の原点」という本を御存知でしょうか？ 彼女の本には「未熟である事、孤独である事」それが私の二十才の原点だと言っています。

私達も今、社会人又は学生という確固たる自分を作り出していかななくてはいいなと思います。一人前の大人として民主政治に参加できる選挙権も与えられます。権利を与えられるという事は、当然、義務と責任を果さなければなりません。それは自分の行動に責任を持って正しく判断することです。

これからは、今まで以上に身体を鍛練し、知性をみがき、恥ずかしくない社会人になりたいと思っています。

また、私達の若々しい精神と情熱でもって、社会の繁栄と発展のために協力して、これからの日本を築いて行きたいと思っています。

ファミリリー

オリエンテering
ファミリリー
ゲートボール

に参加しよう

体育協会と教育委員会では、三月一日（日）にファミリリーオリエンテering大会を花瀬公園で計画しています。

また、三月十五日（日）にはファミリীগートボール大会を計画しています。ご参加を!!

紹介

田代町子ども会育成連絡協議会の活動

田代町子ども会育成連絡協議会（略して「子連」）が発足したのは、昭和五十三年五月三十日である。発足を機に、各地域子ども会の活動も充実してきたようである。

子連の活動は、毎年五月と三月の二回、地域子ども会リーダーと育成者の合同研修会を開催し、事例発表、レクリエーション指導、講話、映画等を内容として、子ども会及び育成者の資質

の向上をはかっている。

また、毎年夏休みに「子ども会大会」を開催している。内容は、ミニ公開、事例発表、レクリエーション等を実施している。

現在、各地域子ども会ではいろいろな工夫をこらした活動が展開されているようであるが、活動の事例をあげてみると、新入生歓迎会、危険物入れ作成、防犯ポスター作成、花園の手入れ、各種学習会、老人慰問、映



画会、子どもの日・母の日・父の日の各行事、十五夜綱引き、親子一日遠足、夏休み作品展、

冬の省エネルギー運動展開中

石油・電力の節約に協力しましょう